

移住定住 WEB サイト
「ココカラオオツチ」
ほか SNS で情報発信



▶ WEB サイト

大槌町の暮らしについて紹介しているほか、空き物件情報や地おこ募集の情報なども掲載



▶ インスタグラム



▶ ツイッター



▶ フェイスブック



▶ ライン



ぜひ活用して大槌の「居・色・自由」
を楽しみましょう！



お大 塚 まさ とし 俊 さん
大 塚 よう子 さん

初めて大槌にいらした際に釣上げたアイナメの魚拓と満開のシャクナゲとともに、ご夫妻ともども家のなかで一番のお気に入りという庭から景色をバックに



第10回
とも あ えん ぼう
朋有り遠方より来る
きた



遡ること1年半前、愛知県尾張旭市から大槌町に移住された大塚正俊さん、よう子さんご夫妻。都会を離れ、大槌に住むことにした決め手は。空き家となっていた中古住宅を購入、不安もありつつも決断に至った経緯とは。大槌に住んでみての生活などを聞きました。

大槌への移住のきっかけ

取材当日、大塚さんの自宅近くまで行くと、手入れの行き届いたきれいな花の咲く庭の前にて笑顔で迎えてくれました。

釣りが趣味の正俊さん、以前から幾度となく大物を求めて三陸の海を訪れたことがあり、大槌町には平成13年に初めて訪れ、アイナメを釣った時のことを懐かしげに話します。

「70歳を迎え、新築の住宅を購入しても、元気に住める時間はどのくらいあるのか分からない。それならば、少しでも安価な中古住宅を住まいの選択肢に入れ、居住地を探しました」と正俊さん。

愛知県での住まいは、区画整理された土地で、自宅から見える景色は隣の家が見えるくらいとのことでした。

一昨年、9月に現自宅を見学した際、住宅が少し傾いていたとのことですが、「新居で新年を迎えたい」という強い要望に地元不動産会社が応えて修繕し、なんとか年内には居住が可能となり、無事にお正月を過ごすことができたそうです。

大塚さんご夫妻は、町の補助事業「空き家リフォーム支援補助金」を活用しリフォームも行っています。

大槌に移住して思うこと

移住先を探すにあたって、九州なども選択肢に入れていたこと、田舎暮らしへの不安も多少あり、良いことだけではないといった情報もありましたが、「伊勢湾より大物が釣れる」という三陸の魅力も移住の決め手となったと正俊さんは話します。

毎日、海までの散歩が日課となり、花を見ながら季節の移ろいを肌で感じ、「近所の犬と会うことも楽しみとなり、何気ない日常にも楽しさを感じられます」とようさんは嬉し

た。「いまの家の一番のお気に入り、窓から見える景色。ときどき、三陸鉄道が通っていくのをゆっくりに眺めている時間を幸せに感じています」とようさんは、自然の移ろいを感じる景色に魅了されています。

「ウグイスの鳴き声がとても心地よいです。季節によってはキジの声も聞くことができます」正俊さんは、嬉しそうに話します。

大槌に移住した当時は

庭の手入れが趣味のよう子さん。手入れの行き届いた、董の花が美しく咲く庭も、最初は笹で生い茂っていました。引越時は年末ということもあり、寒さで凍土と化した土を「硬くて、最初は岩かと思いましたが」と当時の驚きを話します。

そうに話します。

不安もあったご近所付き合いも、住み始めた当初からウニやワカメなどの海の幸を「おすそ分け」いただくなど杞憂に終わったようです。

「町の健康診断もバスが迎えに来てくれるから、とっても便利です」
「夏はとても過ごしやすい」と、次々にご夫婦の口から発せられる言葉から、田舎暮らしの不安や中古住宅での生活を楽しさに変えるエネルギーを感じました。

最後には、町内会の草刈り活動、健康診断など開始時刻には既にスタートしている「大槌時間」に、「最初は戸惑いもありましたが、今では慣れました」と楽しそうに話してくれました。

大槌町には、空き家への移住促進による地域活性化を図るため、「空き家リフォーム支援補助金」があります。

